

平成17年度 CSI構築推進委託事業成果報告

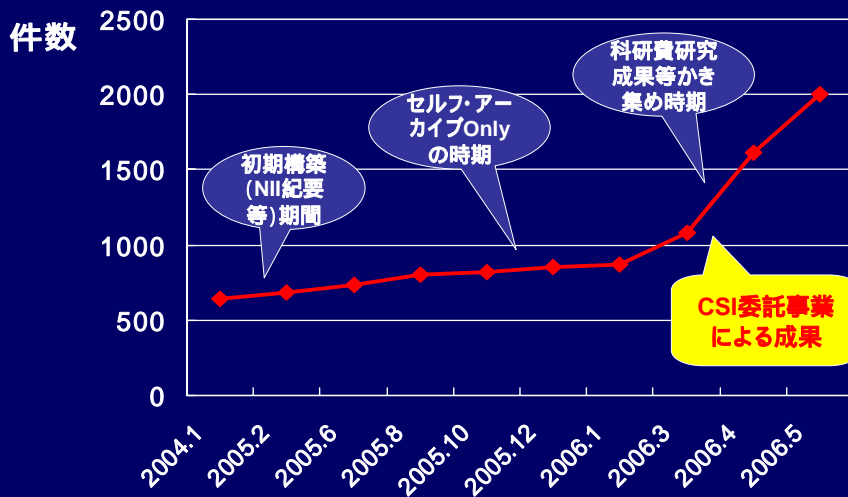
学内外システム連携

千葉大学附属図書館
2006/5/16

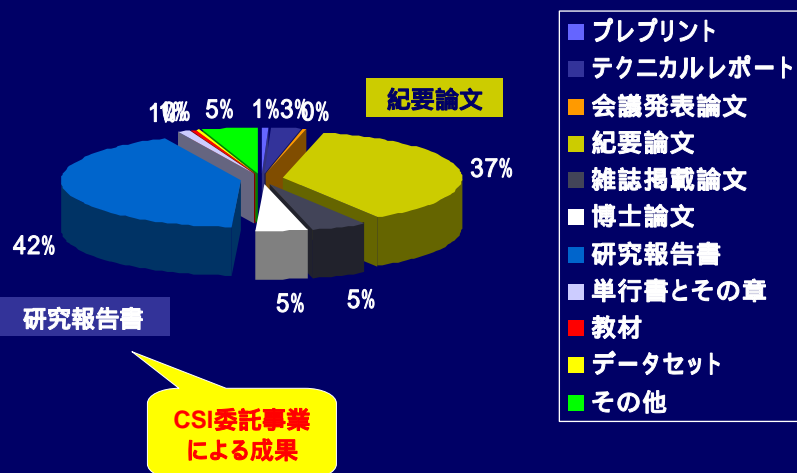
千葉大学学術成果リポジトリ(CURATOR) の歩み

- **平成14年度(2002) 着手**
 - プロトタイプシステム開発
 - 館内ワーキング設置
 - 学内教員に対し学術情報発信アンケート実施
- **平成15年度(2003) 試行運用開始**
 - 学内教員による「協力者会議」設置
 - プロトタイプ版改善
- **平成16年度(2004) 学内合意**
 - 学内教員による「学術情報発信専門委員会」設置
 - 初期データ構築(約500件)
 - 国内学会著作権調査実施
 - 「運用指針」制定
 - 学内合意成立
- **平成17年度(2005) 正式運用開始**
 - 学内説明会開催、ユーザー登録開始
 - CSI委託事業を受けシステム開発、コンテンツ構築を実施

CURATORコンテンツの伸び



コンテンツの資源タイプ



リポジトリ構築の障壁となるもの

- 登録に際しての手間

- わざわざ登録する時間がない
- 何度も業績を登録するのが面倒
- 許諾に関して不明

研究業績等システムとの連携により手間を省き1度の登録へ

- リポジトリの信頼性・有効性に疑問

- 電子ジャーナルがあればよい
- プレプリントサーバがあればよい
- オープンアクセスに無関心

発進力を強化して信頼性向上

CSI委託事業により実施

(1) 学内システム連携

千葉大学多目的利用分散型学術成果等DBシステム(以下CUFA)との連携を実施

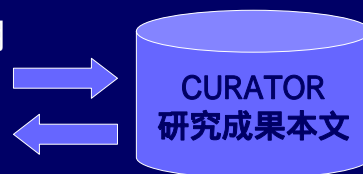
CUFA:千葉大学多目的利用分散型学術成果等DBシステムとは

●分散型DBシステム

- 各研究者が自分のPCにシステムをインストール
- 研究者自身が自分の研究成果を登録し自分のPCに保存

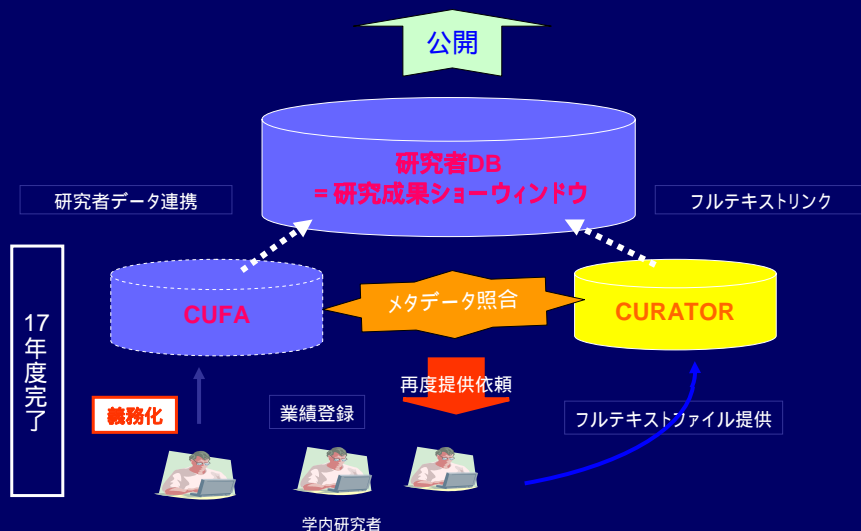
●多目的利用システム

- 用途に応じて多目的に利用
 - READ
 - 科研費申請
 - 各種研究業績・成果報告



メタデータ照合

研究成果ショーウィンドウ構築へ





(2) 学外システム連携

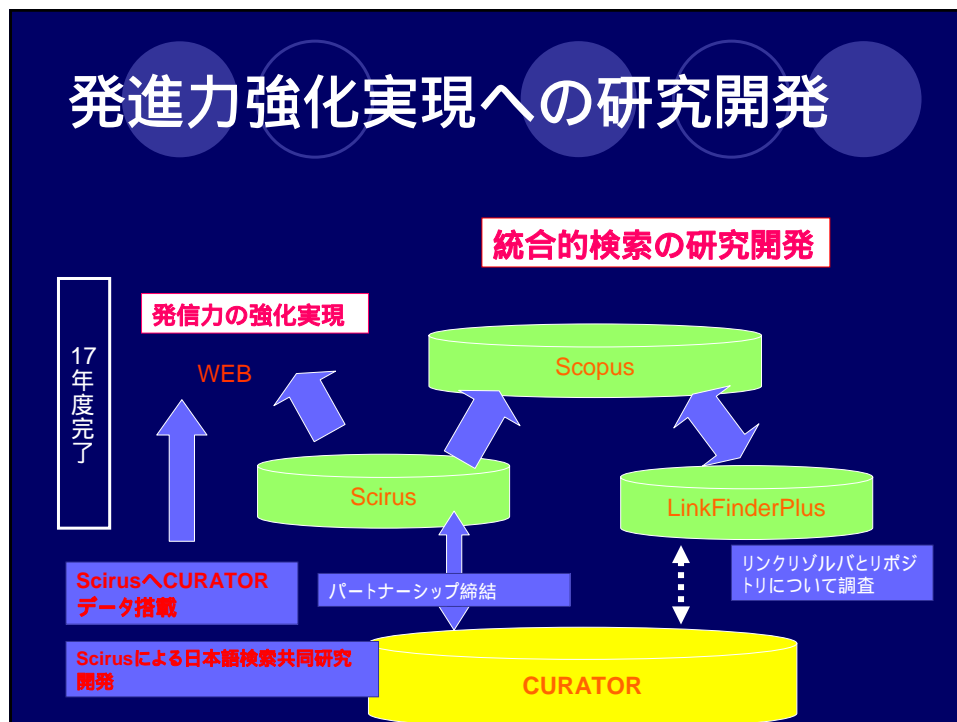
エルゼビア社の無料学術情報検索エンジン Scirusと共同研究を行い、Scirusの日本語検索を可能とした。



Scirusとの連携

- CURATOR、アジア太平洋初のScirusパートナーに
- 世界に多くのユーザーを持つScopusからの検索も可能に
- 日本語検索ソリューションの開発
 - 単語をスペースで区切らない日本語の文字列を含む文書への索引付け
 - 現在もテストサイトにてCJK検索開発継続中

発進力強化実現への研究開発



17年度CSI委託事業の成果

- I. 研究者DB構築へ向けての学内連携
- II. 学外Web検索エンジンとの学外連携
- III. コンテンツの整備拡充
 - I. 研究成果一括登録(業者委託)
 - II. 著作権許諾調査開始(人件費)
- IV. 周知広報活動・調査研究
 - I. シンポジウム、ワークショップの開催
 - II. 各種広報活動(ポスター、ニュースレター、グッズの配布)
 - III. 海外機関現地調査
 - IV. 著者版保存のための研究活動サポート調査開始



ご清聴ありがとうございました